

「生命誕生 いのちの授業」を勉強して

土中保健室

1月25日(火)にあびこ助産師専門学校の横山鮎美先生をお招きして、2年生の性教育「生命誕生」のお話を聞きました。

横山先生は今までに600人以上、出産に立ち会い、いのちの誕生に携わっていらした助産師さです。みなさんは、脈々と「命のバトン」を受け継いで今を生きていること。そして、受け取ったバトンを受け継ぐ番になりはじめたこと——受精卵から命が芽生えていくその様子や、たくさんの貴重な助産師さんの資料を提供していただきながら、命の誕生について勉強しました。

最後に、「うまれる」のDVDを視聴し、授業は終わりました。命がけでお母さんが出産に臨んでいる周りで、お父さんをはじめ、産科の先生、助産師さん、看護師さんに支えられ、待望の赤ちゃんが産まれるシーンに生徒は感動したようです。授業後の生徒の感想や感じたことをまとめましたので、ご覧ください。

「生命誕生」のお話を聞いて、あなたが感じたこと、印象に残ったこと。〈一部抜粋〉

1 組



♡生命ができるまでの過程、生まれてくるまで、どうやって成長するか不思議です。あらためて、母親から生まれてきた自分と親がすごいと思いました。私は痛いのが嫌いなので、母の様に産めるかってところです。今後は、もう少し命というものを考えながら、生きようと思います。この世から一人でも命を傷つける人がいなくなるといいです。授業を見て、親に感謝します。お母さんの子で良かったです。(女子)

○自分のいのちができる確率に驚いたのと、自分が生まれるのに、親は、こんなに大変な思いをしていたことを知った。親にはすごく感謝しているし、自分を産んでくれて、ありがとうという気持ちでした。自分の体のことや、女性との関係などのコントロールをしっかりして、相手の体の事を絶対にバカにしてはいけません。女性との関係は、友達にもそうだけど、暴力や暴言は絶対にしてはいけませんことや、恋愛という目で見たときも、そういうことをしてはいけませんと思いました。(男子)

♡6億分の1で生まれた奇跡の命に対して、今までは、当たり前だと思っていましたが、お話を聞いて、生きる大切さやすごさを知ることができました。生まれてから自立するまで、たくさんの方に支えられてきた自分も誰かを助けてあげないといけないなと感じました。今、健康に生きて、仲の良い友達や家族に出会えていることに感謝して過ごしたいです。一生物の命を持っている分、ネガティブではなくポジティブに幸せを毎日感じながら、生きようと思いました。命と向き合う助産師さんたちが本当にすごいと思います。(女子)

○もともと、このような話については大切だとわかってはいた。だけど、それにプラスして、命が誕生するということはどれほど、すごい事なのか、素晴らしい事なのかをよく知ることができた。日々、ニュースを見ていると、お腹の中にいる赤ちゃんが亡くなってしまったことや、家庭内暴力によって亡くなってしまったり…。「生命が誕生する」ということは素晴らしい事だが、それに伴って、リスクも生まれてしまうのではと感じた。親に預かったこの命。ずっと死ぬまで大切にしたい。(男子)

2 組

○先生の話聞き、生まれてきても、すぐに亡くなってしまいう命もあるということに印象が残った。(DVDを観て)お母さんは泣いて赤ちゃんを抱きながら、生まれてきてくれてありがとうと、亡くなった赤ちゃんの写真に言っているところが悲しいけど、今回は無事に生まれてきて良かったなと思いました。お母さんは苦しそうだったけど、元気に泣いて赤ちゃんが産まれてきたシー

ンを見て良かったと思いました。(男子)

♡針で開けた穴と同じくらい小さかった命が、10ヶ月で大きくなって、みんなに見守られながら、この世に誕生するのだと改めて知りました。お母さんに産んでくれてありがとうと伝えたいです。お父さんは私の事を好きすぎて、少し困るくらいだけど、子どもは私しかないないので、感謝の気持ちを忘れずに成長した姿を見せていきたいと思いました。



赤ちゃんができることを考えると、怖い思いがあるけれど、支え合ってくれる人と一緒に大切に育てなくちゃいけないと感じました。(女子)

○生命誕生のお話を聞いて感じたことは、やっぱり生命を授かることは責任重大だと思いました。声変わりや体つきが変わるなど嫌だな〜って思う事はあるけど、ちゃんと成長している証拠なんだなって感じました。思春期になると、いろいろな所や感情が湧き出たりして、親に反抗したりするけど、大事に育ててくれたことを忘れずに、生活していきたいと思いました。(男子)

♡私は、赤ちゃんの頃(出産時)に逆子になり、危ない状態になってしまったんですが、助産師さん達が一生懸命助けてくれて、私は今元気に過ごしています。私たちが生まれてこられるのは、当たり前ではなく、奇跡だというのをお母さんから聞いていました。今日の横山先生のお話で、あらためて「生命誕生」というのは、とても素晴らしい事だとわかりました。14万分の1の誕生を助産師さんたちが助けてくださることに、ものすごくありがたく思いました。今日は本当にありがとうございました。家に帰っても忘れずにお母さんに話したいと思いました。(女子)

3 組

♡今までお腹の中から出てきた赤ちゃんの事を中心に考えていたのですが、お腹の中にいる赤ちゃんの様子や心臓の音の速さ、いろいろなことを今回の授業で改めて実感しました。(無事に生まれてくるのが)6億分の1の確率のことも初めて知りました。生と死が隣り合わせのところ働くという事は、計り知れないプレッシャーと責任感にかられると思うのですが、それでも、頑張っって妊娠している人を支えているということに、私はとても感動しました。4人兄弟で4人の子どもの親は産んでいるのだと思うと、すごいなと思います。(女子)



○今日のお話を聞いて、今までより、もっともっと大切なものだ理解し、それを意識して生活したいと思いました。特に、(自分の子は)普通に「かわいい」ではなく、特別に「かわいい」のだということが印象に残りました。ハートの中の小さな穴ぐらいの大きさから、今の大きさになっていると考えると、命の大きさが改めて分かった気がしました。ここまで育ててくれた周りの人たちに、さらに感謝したいと思いました。(男子)

♡赤ちゃんが生まれる時に回っているなんて知らなかった。生まれたときの記憶はないけど、赤ちゃんも親を選んでいるのかもしれないと思った。最近、私も否定してしまうことが多いから、よく考えて話したり、行動したりしようと思った。しかし、だからといって、否定するのを止めるのではなく、嫌なことははっきり言えるようにする。恋愛関係とかでも、すべて許すのではなく、ちゃんと気持ちを表現しようと思った。DVDで赤ちゃんが生まれる瞬間を見て、とても感動した。自分ももらいたいのちをしっかりと生きようと思った。(女子)

○6億分の1の確率で生まれてくると聞いて、1つの命はそんなにも少ない確率で生まれてくるとに驚きました。精子と卵子が会わなかったら、今の自分はいなかったと思うと、今生きて生活できていることにとても感謝しています。親戚や友達、他人の赤ちゃんでさえ、とても可愛いと思うのに、自分の赤ちゃんが生まれたら、どんな気持ちになるか楽しみです。いろいろな人に支えられて生まれ、助けてもらいながら成長したことを忘れずに、一生懸命生きていこうと思います。(男子)